



SC相模原

相模原市小学校体育授業サポート事業 1/2

アカデミーチームやトップチーム選手が小学校に出向き、体育授業を行います。単発の授業ではなく、一単元を、数日間にわたり受け持ちます。6年間をかけ定期的に授業に出向き、継続的に関わる事で、子ども達の運動能力や意識の変化を継続的に見ていきます。授業時間外にも子ども達がその動きを繰り返せるよう、準備運動には日常の遊びとリンクするような体の動かし方を取り入れる等の工夫をしています。体育指導を専門としていない先生にとっては、体を動かすようにする為の子どもたちへの声掛けや促しの参考にもなっているようです。



活動場所 相模原市内小学校



協働者

企業、学校、行政、小学校PTA

協働者名

相模原市立上溝小学校PTA、富士見小学校PTA、
相模台小学校PTA、根小屋小学校PTA、
ノジマステラ神奈川相模原(WEリーグ所属)、
三菱重工相模原ダイナボアーズ(ジャパンラグビーリーグ
ワン所属)、相模原市教育委員会、相模原市



協働者の声 実施小学校PTA／保護者様アンケートより

わかりやすく楽しみながら授業に取り組めたようなので、授業のあった日には楽しそうに内容を話してくれ、今まで学校での出来事を聞くことはあまり無かったので嬉しかった。



活動詳細情報

[タウンニュース](#)

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ





SC相模原

相模原市小学校体育授業サポート事業 2/2



Story

相模原市は、ラグビー、アメフト、男女サッカー、自転車ロードレースチームの4種5プロスポーツチームがある、全国的に珍しい地域です。一方で、2017年実施の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で小学生男女の数値が平均と比較し低いという課題もありました。体育授業を通して地域の子どもたちに体を動かす楽しさを知ってもらうよう立ち上がろうと、2018年より2校をトライアル校にこの事業は始まりました。

体育授業のひと単元を、アカデミーコーチやトップチーム選手が受け持つという点が特徴です。
選手が学校に出向き、「夢」をテーマにした授業を



実施していますが、あくまで「特別授業」としての単発的なもの。一方で、この事業は、時間をかけ子どもの運動能力や意識の向上を図っていく為、継続性が必要です。

事業継続させる為には、予算が必要です。学校予算は限られており、PTAだったり、地域の自治会であったり、地域の商店街の方々から資金を募り、継続していく方法を模索しました。スタート校のなかの1校は、初年度からPTAが予算を捻出してくれ実施しています。

当初はSC相模原単独で始まりましたが、ノジマステラ神奈川相模原(WEリーグ)や三菱重工相模原ダイナボアーズ(ジャパンラグビーリーグワン)も加わり実施校は増加しています。

市からの予算もつくようになり、実施校は年々増えています。

SC相模原担当校は、2020年度に7校76クラス1,462名の児童を相手に117コマ授業を行いました。2021年度は、8校で149コマとなる予定です。実績をもとに支援者を募り、規模を拡大していくこと、他のホームタウンチームや近隣大学の運動部等



にも仲間に加わってもらう事で、この事業には考えられる伸びしろが、多々あります。

この取り組みはまだ始まったばかりですが、将来的に市内全小学校にホームタウンチームや地域のアスリートや元選手やコーチらが子ども達の体育授業をサポートできる仕組みづくりを目指していきます。